



佐賀県立博物館
SAGA PREFECTURAL MUSEUM
佐賀県立美術館
SAGA PREFECTURAL ART MUSEUM

佐賀県博物館及び美術館協議会
令和7年度 第2回：3月26日（木）

はじめに	2
I 令和7年度の事業実施状況	
1 博物館の展示活動	10
2 美術館の展示活動	25
3 普及活動・イベント	29
4 岡田アトリエの公開及び活用	42
5 資料寄贈/購入	43
6 美術館ホール舞台調光操作卓設備更新工事	45
II 令和8年度の事業計画について	
1 令和8年度の展示計画	48
2 令和8年度の予算	49
III 令和7年度第1回佐賀県博物館協議会及び美術館協議会における主な意見と対応状況	51
IV その他	53

¹ はじめに（佐賀県の博物館等の歴史）

- 1970年10月14日 佐賀県立博物館開館。（直営）
県内唯一の総合博物館。
- 1980年11年 1日 佐賀県立九州陶磁文化館開館。（直営）
肥前の陶磁器をはじめ、九州各地の陶磁器に関する文化館。
- 1983年10月 8日 佐賀県立美術館開館。（直営）
佐賀県にゆかりの芸術家や画家を中心とした美術館。
- 1993年10月30日 佐賀県立名護屋城博物館開館。（直営）
国の特別史跡「名護屋城跡並陣跡」に隣接し、文禄・慶長の役を中心に関日本列島と朝鮮半島との交流史を紹介している博物館。
- 1999年 7月 8日 佐賀県立宇宙科学館ゆめぎんが開館。（指定管理）
「宇宙」、「地球」、「佐賀」を総合的に理解してもらうことを目的とした科学館。
- 2006年 8月 1日 佐賀県立佐賀城本丸歴史館開館。（直営）
時代を先導した「幕末維新期の佐賀」をテーマに佐賀城の復元や幕末維新期を先導した佐賀藩の科学技術、佐賀が輩出した偉人について分かりやすく紹介している歴史館。

はじめに（佐賀県立博物館・佐賀県立美術館の概要）

佐賀県立博物館

1970年（昭和45年）10月14日に明治百年記念事業として開館。以来、自然史、考古、歴史、美術、工芸、民俗の各分野にわたり、収集してきた資料を調査・研究している。これら各分野の資料を常設展「佐賀県の歴史と文化」の中で展示・紹介。（多くの展示物は、定期・不定期に入替を実施。）

建物は、内田祥哉氏と高橋訥一氏（第一工房）による設計で1971年には日本建築学会賞（作品賞）を受賞するなど、建物自体が高い評価を受けている。

（延床面積 4,694㎡、建設費 約5億円）

佐賀県立美術館

1983年（昭和58年）10月8日に県政100年記念事業として開館。

主に佐賀県にゆかりのある近・現代の絵画、彫刻、工芸、書などの資料を収集し、それらの調査・研究と展示・紹介を行う。

ホールを併設し、展示室と合わせ、貸スペースとして、音楽・演劇イベントの他、公募展や団体展も数多く開催。

2015年に県出身の日本近代洋画の巨匠・岡田三郎助(1869～1939年)を紹介する常設展示室OKADA-ROOMを設置。

（設計 安井建設設計事務所、延床面積 4,263㎡、建設費 約15億円）

はじめに（佐賀県立博物館・佐賀県立美術館の概要）

アラカシ広場（屋外展示場）

1967年に旧西有田町の縄文時代後期の遺跡から発見されたアラカシの実（ドングリ）が出土。翌年、発芽し、鉢植えで育てられ、1970年に博物館に移され、1975年に鉢から現在の場所に移植された。

屋外展示場では、陶石を砕く際に用いられた「水唐臼（みずからうす）」や「佐賀城の記石（きせき）」、「石造三重塔（せきぞうさんじゅうのとう）」等の石造物、再現された高輪築堤などを展示。

清恵庵

佐賀県出身の実業家で、リコー三愛グループの創始者、故市村清氏（1900～1968）の御遺志により、幸恵夫人より寄贈され、1973年に、佐賀城の広い南濠に面した現在地に建てられた茶室。

古賀忠雄 彫刻の森

日本を代表する彫刻家・故古賀忠雄氏の代表的な彫刻作品を県立博物館・美術館周辺の野外（佐賀城公園）に展示、周辺環境を芸術空間として古賀氏の作品を多くの皆さまに鑑賞していただくことも目的に、1994年3月に開園。

2023年に博物館・美術館の南側を再整備し、この一帯を「SAGA ART PATH」と命名。

はじめに（佐賀県立博物館・佐賀県立美術館の概要）

岡田三郎助アトリエ（女子洋画研究所含む）

1908年に東京恵比寿に建築され、110年の時を超えて佐賀県立博物館東隣に移築・復原し、2018年（平成30年）4月1日から一般公開している。

後進の指導育成に尽力した故岡田氏を象徴する女子洋画研究所も併せて移築。日本の近代建築史や近代洋画史上の貴重な歴史的建造物。

（面積 アトリエ53.1m²、女子洋画研究所40.0m²）

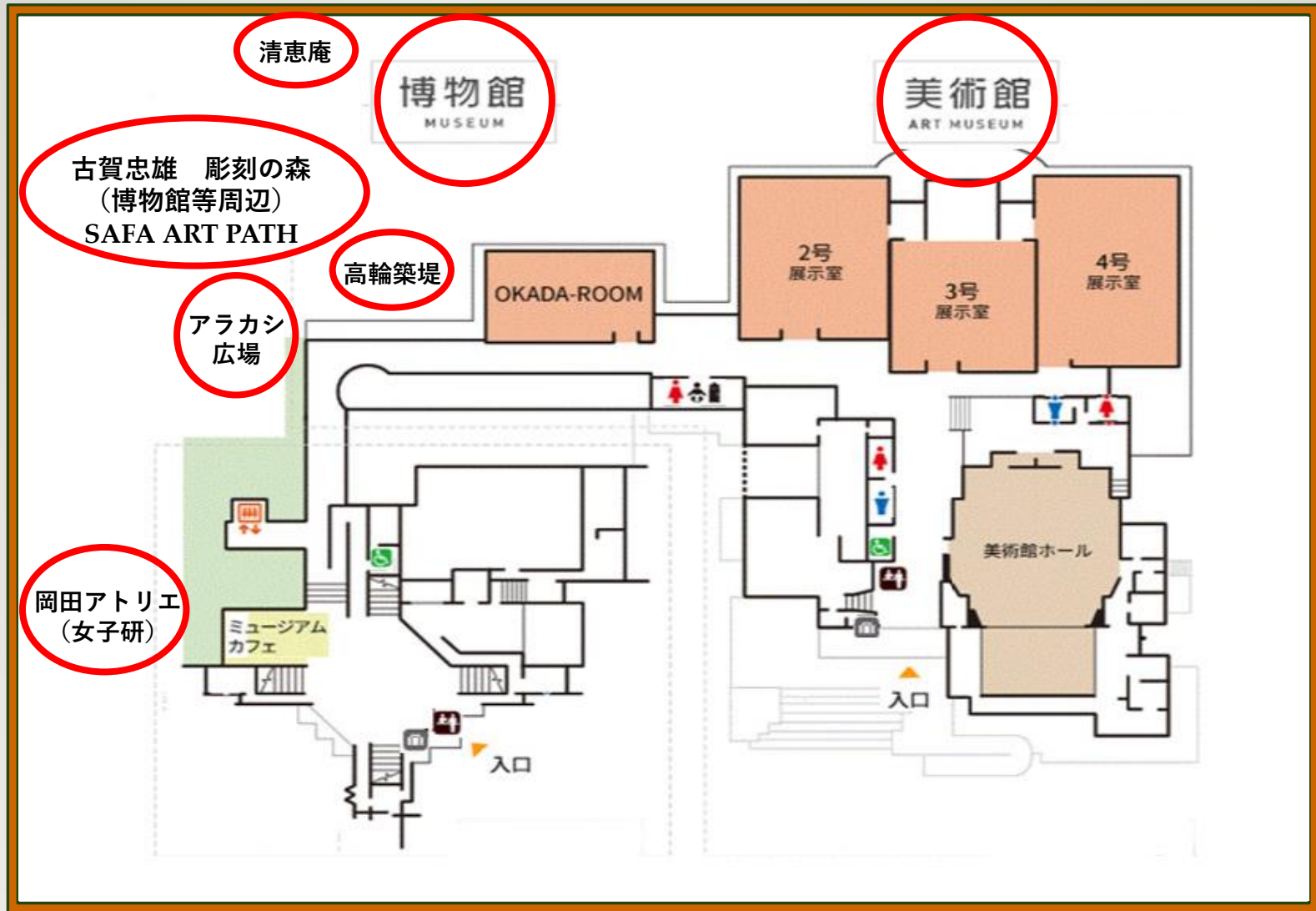
高輪築堤（再現展示）

明治5（1872）年9月12日、日本初の鉄道が新橋～横浜間で開業。

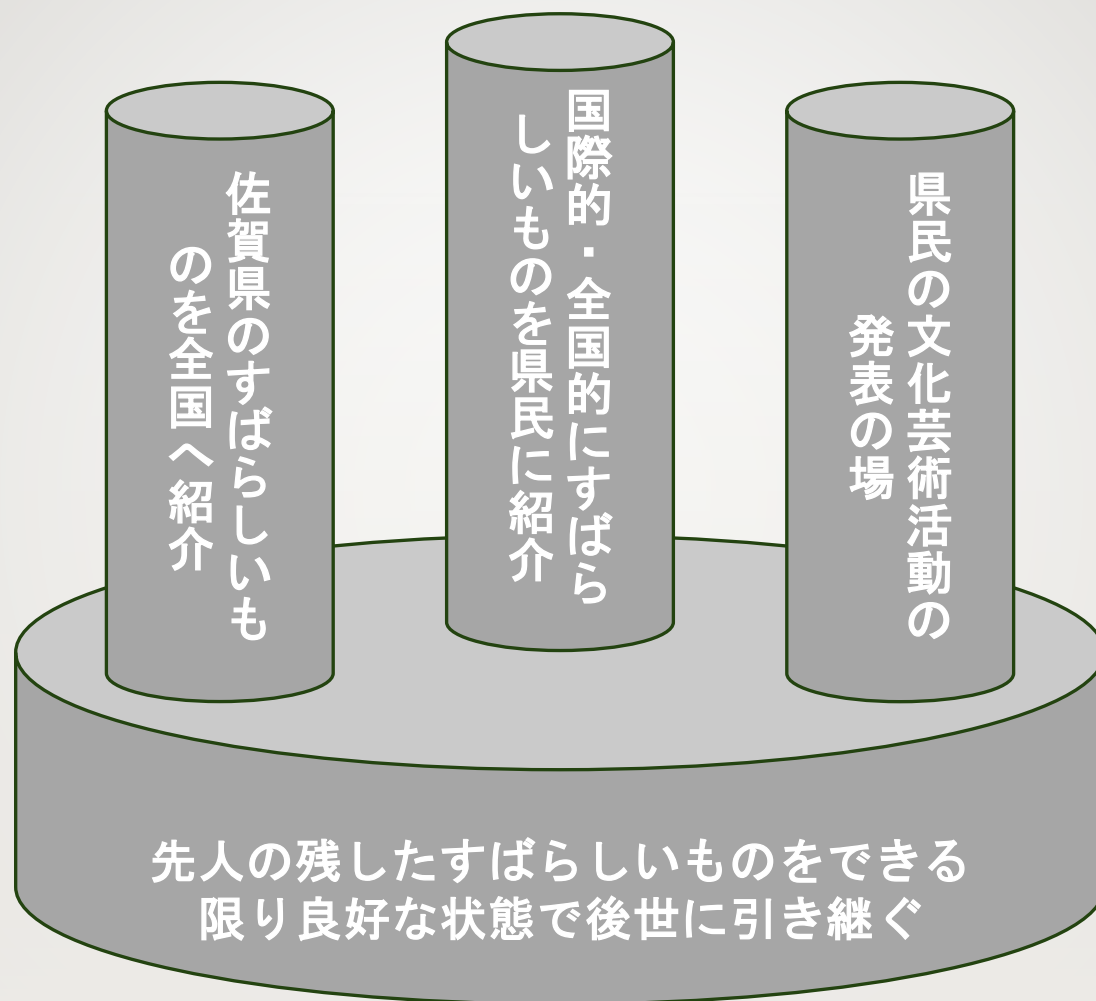
総延長29kmのうち、海上に鉄道を通すために建設された約2.7kmの築堤が高輪築堤。明治3（1870）年10月の着工からわずか2年という期間で完成。その立役者は、佐賀藩出身の大隈重信。鉄道開業に至るまでには、資金の問題、地元の住民や軍部の反対など、様々な困難があったが、大隈はダイナミックな発想力と決断力で乗り越え。

150年後の令和4年（2022年）、東京・高輪ゲートウェイ駅周辺工事の際に発見された「高輪築堤」の一部を大隈のふるさと佐賀の地に再現展示。（館内で大隈の発想力や決断力を、迫力ある映像で紹介。）

はじめに（佐賀県立博物館・佐賀県立美術館の概要）



はじめに（佐賀県立博物館・美術館の組織目標）



はじめに（佐賀県の博物館・美術館の運営組織（令和8年3月現在））

館長
1名
(会計年度任用職員)

統括副館長
1名
(博物館法第4条)

名誉顧問
1名
(非常勤職員)

副館長
1名

学芸課長
1名

総務課長
1名

博物系担当係長
1名

係長
1名

博物系担当 5名※1
会計年度任用職員 1名
非常勤職員 1名

美術系担当 2名
会計年度任用職員 1名

担当 3名※2
会計年度任用職員 13名
(受付11名、事務2名※2)

※1 博物系5名のうち2名は、本庁文化課兼務で、勤務地が宇宙科学館内

※2 総務課長、係長、担当者3名は、佐賀城本丸歴史館兼務、会計年度任用職員事務のうち1名も同様に兼務。

◎佐賀県博物館及び美術館協議会
博物館、美術館の運営に関し、館長の諮問に応じ、館長に対して意見を述べる機関（博物館法第23条に規定）

I 令和7年度の事業実施状況

1. 博物館の展示活動（常設展）

常設展 「佐賀県の歴史と文化」

1号展示室 自然（地質、化石、佐賀の生き物など）

2号展示室 考古、歴史、美術・工芸（旧石器・縄文～近世）

1号展示室【自然史】



2号展示室【歴史】



1. 博物館の展示活動（常設展）

常設展 「佐賀県の歴史と文化」

3号展示室 歴史、美術工芸（近世・近代）

大展示室 民俗（有明海・玄界灘の漁労用具、佐賀平野の農具等）

3号展示室 【歴史、美術工芸】



大展示室 【民俗】



※ 3号展示室の一画は、企画展（テーマ展・アート展）の会場としても活用。

1. 博物館の展示活動（常設展）

常設特集展示

（1）戦後80年—戦争にまつわる館藏品—

会期 令和7年7月24日（木）～9月10日（水）

会場 博物館3号展示室（一部）

概要 太平洋戦争終結80年の節目として、刀剣・美術、民俗・歴史・考古資料など、戦争にまつわる館藏品24件157点を紹介。



武雄女学徒報国隊資料



戦中標語



山口猛彦《戦車》昭和18年

1. 博物館の展示活動（常設展）

常設コーナー展示

（2）重要文化財指定65周年記念—唐津市宇木汲田遺跡の墳墓と副葬品—

会期 令和7年12月23日（火）～令和8年1月25日（日）

会場 博物館2号東側

概要 弥生時代中期の唐津地域を代表する宇木汲田遺跡の墳墓から出土した青銅武器やヒスイ勾玉など計222点を紹介。
（国重要文化財4点、佐賀県重要文化財216点を含む）



ヒスイ勾玉・銅鏡等（館蔵：県重文）



銅剣・銅矛（唐津市教育委員会蔵：国重文）

1. 博物館の展示活動（常設展）

常設特集展示

（3）修理報告 東妙寺文書

会期 令和8年1月27日（火）～3月15日（日）

会場 博物館2号展示室東側

概要 令和6年度に修理が完了した、吉野ヶ里町の東妙寺文書（国重要文化財）の修理状況と成果の報告。



1. 博物館の展示活動（テーマ展）

有明海をめぐる交流史（観覧者数 7,129名）

会 期 令和7年3月15日（土）～5月11日（日）

会 場 博物館3号展示室（一部）

内 容 広大な干潟が広がる有明海は、歴史的には水上を船が行き交い、人やモノがひろく交流する海であった。

本展では、有明海における交流の歴史を紹介。

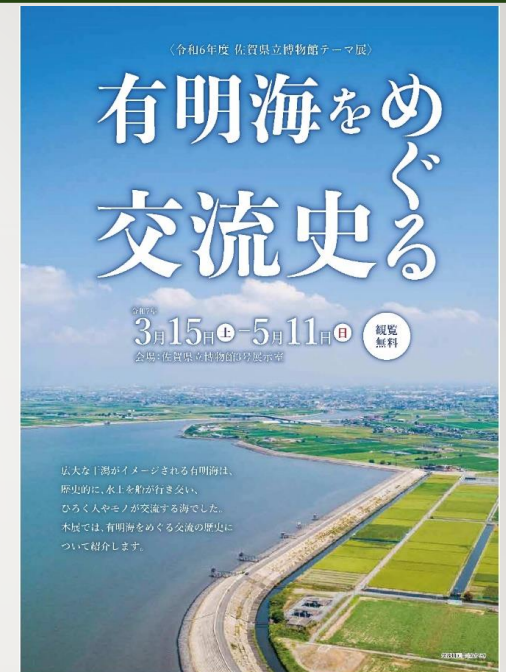
○博物館・美術館セミナー

日 時 令和7年3月15日（土）13時30分～15時00分

会 場 美術館2階 画廊

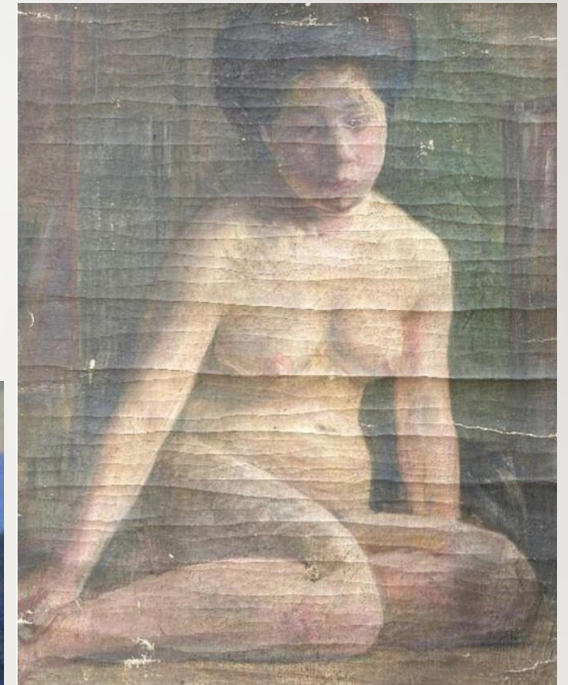
講 師 博物館学芸員 渡部芳久

参加者 29名



1. 博物館の展示活動（テーマ展）

知られざる佐賀の画家たち（観覧者数 6,735名）
会 期 令和7年5月15日（木）～7月2日（水）
会 場 博物館3号展示室（一部）
内 容 佐賀県立美術館は、県出身又は県にゆかりのある美術家たちの作品を収集しているが、本展ではその中でも知られざる佐賀の画家たちとその作品に光を当て、紹介した。



0 テーマ展：知られざる佐賀の画家たち

○博物館・美術館セミナー

日時 令和7年5月17日(土) 13時30分～15時00分

会場 美術館2階 画廊

講師 博物館学芸員 野中耕介

参加費 無料

○ギャラリートーク

日時 令和7年6月14日(土) 13時30分～ (30分程度)

場所 博物館3号展示室

参加費 無料

定員 30名(事前申込不要)

1. 博物館の展示活動（テーマ展）

さがヲほるー佐賀県発掘成果速報展2025ー（観覧者数11,867名）

会 期 令和7年7月24日（木）～9月10日（水）

会 場 博物館3号展示室

内 容 県内の発掘調査で出土した資料や、文化財担当職員の研究によって新たに分かった最新の成果など、佐賀県の歴史を解き明かす最新の出土資料や成果を速報展として紹介。
10年目を迎えた今回は、「さがヲほるの10年」と題し、これまで紹介した中からえりすぐりの出土品をピックアップし展示。



さがヲほるー佐賀県発掘成果速報展2025ー

- 発表会 「さがヲほる」
- 日 時 令和7年8月2日(土) 13時00分～16時00分
- 場 所 県立美術館ホール
- 受 付 当日受付
- 定 員 460名(先着)
- 参加費 無料
- 内 容 —第1部—(13時00分～15時00分)
さがヲほる発表会
- 第2部—(15時00分～16時00分)
現場のあれこれよもやま話

さがヲほるー佐賀県発掘成果速報展2025ー

第1部 さがヲほる発表会(13時00分～15時00分)

展示資料の出土した遺跡の発掘を行った担当者が登壇し、遺跡の魅力や展示品の見どころを紹介します。

発表内容

【報告】 「令和6年度の佐賀県内の発掘調査の概要」(佐賀県)

【発表1】 「下町遺跡」(小城市)

【発表2】 「唐津城跡」(唐津市)

【発表3】 「向野山城跡」(武雄市)

第2部 現場のあれこれよもやま話(15時00分～16時00分)

日頃、発掘調査を行っている文化財担当者が、現場のあるあるや驚きの発見などについてトークします。

登壇：本村 浩二 (小城市教育委員会)

坂井 清春 (唐津市教育委員会)

樋渡 拓也 (武雄市教育委員会)

川副 麻理子 (佐賀県文化課文化財保護・活用室)

1. 博物館の展示活動（コレクション展）

肥前刀の技と美（観覧者数 5,858名）

会 期 令和7年12月6日（土）～令和8年1月12日（月・祝）

会 場 博物館3号展示室（一部）

内 容 初代の跡を受け継ぎ、幕末まで続く肥前刀の基礎を築いた二代肥前忠広。館蔵のコレクションから二代肥前忠広の作品を中心に肥前刀の技と美について紹介。



《刀 銘 肥前国住近江大掾藤原忠広》館蔵

コレクション展：肥前刀の技と美

○博物館・美術館セミナー

日時 令和7年12月14日(日) 13時30分～15時00分

会場 美術館2階 画廊

講師 博物館学芸員 谷頭 舞姫

参加費 無料

○ギャラリートーク

日時 令和7年12月21日(日)、令和8年1月12日(月・祝)
13時30分～(30分程度)

場所 博物館3号展示室

参加費 無料

定員 30名(事前申込不要)

1. 博物館の展示活動（テーマ展）

自然遺産—天然記念物から見た佐賀の自然—（観覧者数7,396名）

会 期 令和8年1月17日（土）～2月26日（木）

会 場 博物館3号展示室

内 容 佐賀には豊かな自然があり、国の天然記念物に指定されて100周年を迎えるものもあります。この節目に守っていききたい生き物や景勝地について紹介します。



コウノトリの雛の剥製
館蔵



「七ツ釜」で見られる
柱状節理
佐賀県立宇宙科学館蔵



八藤丘陵の阿蘇4火砕流堆積物の地層剥ぎ取り標本
上峰町教育委員会文化課蔵

テーマ展：自然遺産

○博物館・美術館セミナー

日時 令和8年1月17日(土) 10時30分～12時00分

会場 博物館周辺(屋外)

講師 博物館学芸員 陣内裕美

参加費 無料

定員 30名程度

日時 令和8年2月14日(土) 13時30分～15時00分

会場 博物館周辺(屋外)

講師 博物館学芸員 村上達郎

参加費 無料

定員 30名程度

○ギャラリートーク

日時 令和8年1月24日(土)、2月21日(土) 13時30分～(30分程度)

場所 博物館3号展示室

参加費 無料

2. 美術館の展示活動（常設展）

常設展 OKADA-ROOM (Vol. 34～Vol. 37)

展示名	テーマ (観覧者数)	会期
Vol. 34	～師を慕いて－岡田三郎助と教え子たち～ (4,568名)	令和7年 3月1日（土）～5月18日（日）
Vol. 35	岡田三郎助・美の探究心 －「下絵」と「技法」－ (10,177名)	8月7日（木）～12月14日（日）
Vol. 36	－岡田三郎助 名品選 －コレクションの道程－ (5,392名)	12月18日（木）～令和8年 3月14日（木）
Vol. 37	岡田三郎助と日本近代洋画の 名品－続・コレクションの道程－ (開催中)	3月18日（水）～6月28日（日）

2. 美術館の展示活動（常設展）

OKADA-ROOM Vol. 35 岡田三郎助・美の探究心
—「下絵」と「技法」—

岡田が描いた「下絵（エスキース）」と彼の絵画作品の「技法」について注目。いつもとは少し違った角度から、「画人」岡田三郎助の美の世界をご紹介します。

OKADA-ROOM Vol. 36 —岡田三郎助 名品選
—コレクションの道程—

岡田の洋画の名作を展示し、収集についてのエピソードも交えながら、コレクション形成の歩みを紹介した。

1. 美術館の展示活動（特別展）

売茶翁生誕350年 売茶翁と若冲（観覧者数23,027名）

主催 売茶翁と若冲展実行員会（佐賀県、佐賀市、佐賀新聞社、サガテレビ、NPO法人高游外売茶翁顕彰会）

会期 令和7年10月7日（火）～11月24日（月・祝）

会場 美術館2～4号展示室

助成 一般財団法人 地域創造

内容 江戸時代、肥前佐賀出身の禅僧・売茶翁は、煎茶を売りつつ、京都芸苑の人々と交流を持ちました。彼の生き方は、画家の伊藤若冲をはじめ彼の没後にも多大なる影響を与えました。

売茶翁生誕350年を記念して、売茶翁と関係の深い若冲との交流を中心にその後の画家たちへの影響についても紹介し、売茶翁を改めて検証した展覧会です。



特別展：売茶翁生誕350年 売茶翁と若冲

○関連イベント

- (1) 10/ 6 開会式・内覧会 (150人)
- (2) 10/11 水墨画パフォーマンス (210人)
- (3) 10/12 煎茶会1 (70人)
- (4) 10/25 記念講演会 (200人)
- (5) 11/ 1 博物館・美術館セミナー1 (福井館長) (173人)
- (6) 11/ 3 煎茶会2 (81人)
- (7) 11/ 8 煎茶会3 (115人)
- (8) 11/15 博物館・美術館セミナー2 (安東主事) (60人)
- (9) ギャラリートーク 通算 10月・5回、11月・3回
- (10) SAGA GAYA MUSEUM 10/18, 19, 11/1

○サテライト会場：肥前通仙亭（佐賀市松原4-6-18）

展覧会のタイアップで、南宗画士・岡原鬪鶴氏の作品や一部売茶翁直筆の書の展示、煎茶体験、講演会等の企画を実施。

3. 普及活動・イベント

博物館・美術館では、館の取組を広く知っていただくために、様々な取組を行っている。

- (1) 博物館・美術館セミナー（4～3月）
- (2) 夏休みこどもミュージアム体験講座※（8月）
- (3) ミュージアム・アートキャラバン隊※（10～12月）
- (4) 昔の道具体験プログラム※（6～3月）
- (5) 先生のための博物館・美術館講座※（7月）
- (6) 学芸員資格取得のための「博物館実習」（8月）
- (7) インターンシップ・職場体験研修受入※（8～9月）
- (8) 出張講座（依頼により随時）
- (9) あらかしコンサート（11月予定）
- (10) 団体利用・見学※（依頼により随時、小中学生向けにワークシートを作成）

※ 博物館法、社会教育法等の理念を踏まえ、教育機関（主に学校）と連携して、子供たちの「ふるさと佐賀を誇りに思い、愛する心を育む」取組を行う博学連携関連事業として実施。

3. 普及活動・イベント

(1) 博物館・美術館セミナー

回	期日	担当	内容	分野	場所	対象	受講数
1	5月17日(土)	野中耕介	佐賀の絵描きたち、その奥深き世界 —佐賀県の美術・そのものがたりと行間—	美術	美術館2階画廊	一般	15
2	6月7日(土)	竹下正博	秀吉の顔／家康の顔	美術		一般	46
3	7月12日(土)	松本誠一	浮世絵から見た洋画家岡田三郎助の名作—《あやめの衣》 と旧御物《楊柳》を中心に—	美術		一般	32
4	8月9日(土)	渡部芳久	発掘！佐賀の考古学	考古		一般	33
5	9月6日(土)	奥田恭介	身近な昆虫を記録しよう～標本をつくとわかるいろいろなこと～	自然		小学生 + 保護者	30
6	11月1日(土)	福井尚寿	売茶翁の生き方	美術		一般	173
7	11月15日(土)	安東慶子	それぞれの売茶翁像	美術		一般	60
8	12月13日(土)	松本尚之 寺澤夏菜	古文書を読んでみよう！-文字以外の魅力編-	歴史		一般	27
9	12月14日(日)	谷頭舞姫	肥前刀の技と美	工芸		一般	48
10	1月17日(土)	陣内裕美	博物館周辺の自然観察	自然		小学生 + 保護者	16
11	2月14日(土)	村上達郎	佐賀が誇る景勝地のなりたち	自然		一般	27
12	3月1日(土)	松浦由香	文化財の健康を診てみよう	工芸		一般	24

3. 普及活動・イベント (2) 夏休みこどもミュージアム体験講座

講座名	日時	対象・募集児童数	参加者数
水琴窟の音がするオリジナル風鈴をつくろう(1)	8/1 (火) 10:00~11:00	小学3~6年生25名	17名
水琴窟の音がするオリジナル風鈴をつくろう(2)	8/1(火)14:00~15:00	小学3~6年生25名	18名
化石発掘体験(1)	8/5 (水) 10:00~12:00	小学1~6年生30名	33名
化石発掘体験(2)	8/5 (水) 13:30~15:30	小学1~6年生30名	33名
竹あかりをつくろう(1)	8/7 (金) 13:30~16:00	小学1~6年生20名	18名
竹あかりをつくろう(2)	8/8 (金) 13:30~16:00	小学1~6年生20名	18名
自分だけの色をつくろう —低学年向け—(1)	8/19 (金) 10:00~12:00	小学1~6年生20名	21名
自分だけの色をつくろう —高学年向け—(1)	8/19 (金) 14:00~16:00	小学1~6年生20名	15名
自分だけの色をつくろう —低学年向け—(2)	8/20 (金) 10:00~12:00	小学1~6年生20名	15名
自分だけの色をつくろう —高学年向け—(2)	8/20 (金) 14:00~16:00	小学1~6年生20名	18名
【関連イベント】 さわってみよう、みてみよう!	8/29 (金) 10:00~15:00	-	24名

3. 普及活動・イベント (3) ミュージアム・アートキャラバン隊

回	日程	時間	内容	学校名	対象	人数
1	9月9日 (火曜日)	14時05分～ 14時50分、 15時～15時 45分	美術鑑賞	白石町立福富小学校	6年生	43名
2	10月21日 (火曜日)	13時30分～ 15時05分	美術鑑賞	佐賀市諸富南小学校	3年生	40名
3	11月6日 (木曜日)	10時30分～ 11時30分	美術鑑賞	佐賀県立中原特別支援学校 鳥栖田代分校	4・5・6年生	30名
4	11月14日 (金曜日)	14時05分～ 14時50分	美術鑑賞	嬉野市立大草野小学校	4年生	15名
5	11月21日 (金曜日)	10時35分～ 12時25分	美術鑑賞	佐賀市立小中一貫校北山校	5・6年生	16名

応募校：6校 実施校：5校、実施内容を特別展アウトリーチに変更：1校

3. 普及活動・イベント (3) ミュージアム・アートキャラバン隊

H30年度(10月～02月)	17校・26回
R01年度(09月～12月)	20校・32回
R02年度(10月～01月)	32校・45回
R03年度(07月～02月)	30校・31回
R04年度(09月～12月)	17校・19回
R05年度(10月～12月)	8校・10回
※名称変更「ミュージアム・アートキャラバン隊」	
R06年度(10月～12月)	9校・10回
R07年度(09月～12月)	5校・6回



打上小学校 (R6年度)

3. 普及活動・イベント

(4) 昔の道具体験プログラム

目的

博物館が収蔵する民俗資料などの「昔の道具」に触れるという体験を通じて、見ただけではわからない日本の伝統的な民具の工夫や昔の人の生活について考え理解してもらう。こうした体験を通じて、民俗資料をはじめとする博物館収蔵資料や佐賀の歴史や文化に興味関心を抱いてもらうことで博物館常設展や各種展覧会への来館者の増加につなげる。



プログラム実施中の様子（R7年度の様子）

申込受付状況

	学校団体	実施日	参加者数
1	佐賀県立大和特別支援学校中学部	令和7年11月28日	29名+引率13名
2	佐賀県立佐賀北高等学校	令和8年1月7日	31名+引率1名
3	佐賀市立諸富南小学校	令和8年2月3日・2月4日	35名+5名（2回合計）
4	佐賀市立千代田東部小学校	令和8年2月10日	20名+引率2名
5	神崎市立西郷小学校	令和8年2月13日	24名+引率2名

3. 普及活動・イベント

(5) 先生のための博物館・美術館講座



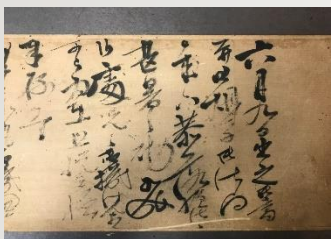
コウノトリ



神像 佐賀県立博物館蔵



博物館常設展示の考古資料



副島種臣書簡 佐賀県立博物館蔵



池田学《誕生》 佐賀県立美術館蔵

申込者数

R3	90名(3講座)
R4	53名(3講座)
R5	61名(4講座)
R6	39名(4講座)
R7	87名(5講座)

コース	日時	講座名	申込数
A	令和7年7月24日(木)	生物と大地—佐賀の自然遺産—	11名
B	令和7年7月25日(金)	仏教美術入門	23名
C	令和7年7月29日(火)	古文書を読んでみよう！「佐賀県の古文書」編	14名
D	令和7年7月30日(水)	基礎から知ろう！佐賀の考古学	10名
E	令和7年7月31日(木)	さかのアート鑑賞講座・実践編	29名

3. 普及活動・イベント (6) 学芸員資格取得のための博物館実習

期 日 令和7年8月25日（月）～9月5日（金）

場 所 博物館・美術館

参加者 博物館法第5条第1項第1号及び第2号により、
学芸員資格の取得を目指す人 計7名

学校名	学年等	人数
久留米大学	3年	1
九州産業大学	4年	1
熊本大学	3年	1
八洲学園大学		1
佐賀大学	3年	1
佐賀大学	4年	1
長崎国際大学	4年	1

3. 普及活動・イベント (7) インターンシップ・職場体験研修受入

日程	学校名	学年など	人数	
7月2、3、4日(水、木、金)	佐賀工業高校	2年生	2名	インターン
7月25日(金)	松梅中学校	2年生	1名	職場体験
	龍谷中学校	2年生	4名	職場体験
7月31、8月1日(木、金)	馬渡中学校	教員	1名	教員研修
8月7、8日(木、金)	北川副小学校	教員	1名	教員研修
8月19、20日(火、水)	中原特別支援学校	教員	1名	教員研修
8月25、26、27日(月、火、水)	有田工業高校	2年生	1名	インターン
9月3、4日(水、木)	佐賀大学附属中学校	2年生	3名	職場体験
9月9、10日(火、水)	金泉中学校	2年生	2名	職場体験

3. 普及活動・イベント

(8) 出張講座（講師派遣事業）

回	月日	派遣者	内 容	場 所	依頼者
1	4月22日 7月8日 10月14日	竹下	ゆめさが大学「徳川家康像の二つの顔－武威と静謐－」	アバンセ 鳥栖市社会福祉会館	佐賀県長寿社会振興財団
2	6月25日	福井	「中林梧竹について」	佐賀市立高木瀬公民館	同左
3	7月9日	竹下	ゆめさが大学「若沖の花鳥画はなぜ美しいのか－特別展「売茶翁と若沖」へのいざない	アバンセ	佐賀県長寿社会振興財団
4	9月13日	福井	日新さが学講座「売茶翁と若沖」	佐賀市立日新公民館	同左
5	9月25日	福井	肥前通仙亭第30期・佐賀おもしろ学講座「売茶翁と若沖」展のみどころ	肥前通仙亭	NPO法人高遊外壳茶翁顕彰会
6	9月23日	福井	売茶翁の生き方	佐賀市立蓮池公民館	蓮池まちづくり協議会
7	12月7日	村上	令和7年度「県民カレッジの集い」トークセッション「恐竜発掘最前線!!in2025」	アバンセ	佐賀県生涯学習センター
8	12月19日	村上	みやき町歴史発見講座2025	みやき町コミュニティーセンター	みやき町教育委員会

3. 普及活動・イベント

(8) 講座・講演会以外の職員派遣

No.	派遣者	内 容	依 頼 者
1	陣内	令和7年度佐賀県理科教育振興会理事会・総会及び研修会（令和7年6月12日）	佐賀県理科教育振興会
2	陣内	令和7年度第75回佐賀県児童生徒理科作品展覧会表彰式（令和7年10月4日）	佐賀県理科教育振興会
3	福井	第1回唐津市文化芸術振興計画検討委員会（令和7年8月4日）	唐津市長
4	福井	文化財評価員（令和7年8月19日）	九州国立博物館
5	竹下	文化財評価員（令和7年8月20日）	九州国立博物館

3. 普及活動・イベント

(9) あらかしコンサート

第55回 (令和7年11月24日 (月・祝) 13:30~ / in美術館ホール)

出演 アルモニア管弦楽団メンバーによる弦楽四重奏

参加者 239名



3. 普及活動・イベント

(9) 団体利用・見学

県内小学校 (国立・義務教育学校・ 特別支援学校の小等部含む)		令和7年度 (R8. 3. 26現在)	
		来館校数	割合 (%)
佐賀市	41校	8校	19.5%
唐津市	31校	1校	3.2%
鳥栖市	9校	6校	66.7%
多久市	3校	0校	0%
伊万里市	14校	2校	14.3%
武雄市	14校	2校	0%
鹿島市	8校	5校	62.5%
小城市	8校	0校	0%
嬉野市	10校	1校	10.0%
神埼市	7校	0校	0%
吉野ヶ里町	2校	0校	0%
基山町	2校	0校	0%
上峰町	1校	0校	0%
みやき町	5校	1校	20.0%
有田町	4校	0校	0%
江北町	1校	0校	0%
大町町	1校	0校	0%
白石町	8校	0校	0%
太良町	2校	2校	100.0%
玄海町	1校	1校	0%
(計)	172校	29校	16.9%

県内中学校 (義務教育学校・ 特別支援学校の中等部含む)		来館校数	割合 (%)
国・県・市町立	101校	4校	3.4%
私立	6校	1校	16.6%
(計)	107校	5校	4.7%

県内高校 (特別支援学校の高等部含む)		来館校数	割合 (%)
県立	51校	3校	5.9%
私立	9校	3校	33.3%
(計)	60校	6校	10.0%

ワークシート「昔の道具」 「博物館へ行こう」



4. 岡田三郎助アトリエの公開及び活用

利用日数（アトリエと女子洋画研究所のいずれかがイベント等で利用された日数）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年(2月末)
173	158	194	235	200	197	114

利用者数（アトリエと女子洋画研究所の全体数）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年(2月末)
26,106	9,995	10,884	15,032	8,075	10,138	7,369

利用状況（一例）

- ・ いけばな展、写真展、水彩画作品展
- ・ 佐賀錦/雛人形展
- ・ 婚礼前撮り
- ・ 緑化運動/育樹ポスターコンクール作品展
- ・ フラワーアレンジメント教室
- ・ 小木曾誠による油彩画公開制作
- ・ アトリエ移築・復原5周年記念連続講座



「日本近代洋画の栄華 岡田三郎助」（令和5年6月～8月 講師：松本誠一（当館名誉顧問）

- ・ 夏休み子どもミュージアム関連イベント「さわってみよう みてみよう」

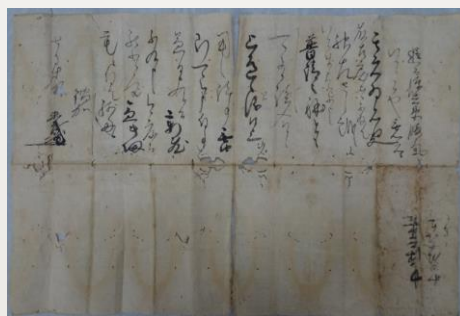
5. 資料寄贈・購入

(購入資料)



両疏帰郷図 葉山朝湖筆

購入資料名	購入日	購入先
七月十四日付鍋島直茂書状	令和8年2月	今井敏博
木村コレクション 近世絵画 (両疏帰郷図 葉山朝湖筆他)	令和8年2月	木村和男
佐賀藩士辞令及び道中日記	令和8年3月	今井敏博
肥前国風土記	令和8年3月	今井敏博
副島種臣 一行書「贈大相國菅公之靈」	令和8年3月	寺崎正貴



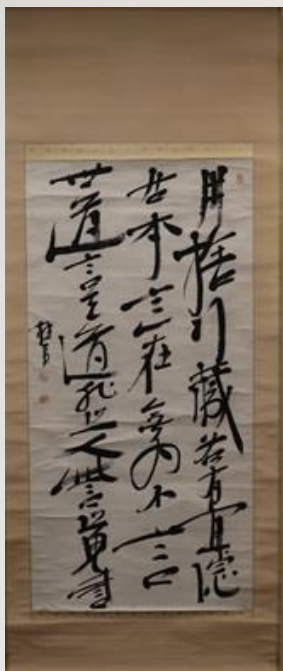
七月十四日付鍋島直茂書状



肥前国風土記

5. 資料寄贈・購入

(寄贈資料)



副島種臣「春日閒居」詩

寄贈資料名	寄贈受納日	寄贈者
刀(無銘)	令和7年10月14日	個人
柄	令和7年10月14日	個人
刀 銘 昭和十九年卯月吉日／ 肥前国正次鍛之	令和7年10月14日	個人
副島種臣「唐太宗皇帝句」	令和7年11月6日	個人
短刀 銘 広重	令和7年11月6日	個人
山口耕雲 七言絶句 高適詩 除夜作 他	令和8年2月6日	個人
副島種臣筆「見得思義」	令和8年2月15日	個人
副島種臣筆「春日閒居」詩 他	令和8年3月5日	個人
千布家文書	令和8年3月25日	個人
刀劍(短刀・刀)	令和8年3月25日	個人
佐賀藩札	令和8年3月25日	個人

6. 美術館ホール舞台調光操作卓設備更新工事

- 目的 美術館ホール舞台調光卓設備が供用開始から20年以上経過。また補修サポートも終了しており、部品の生産も終了となっており、故障により復旧できなければホールでの催事ができなくなることから、更新工事を行った。
- 事業内容 美術館ホール舞台調光操作卓設備の更新
- 事業費 29,293千円



7. 茶室「清恵庵」が国登録有形文化財になりました



★昭和48（1973）年に建築され、県に寄贈された茶室清恵庵が、新たに国登録有形文化財（建造物）に登録されました。

令和8年2月10日官報告示

Ⅱ 令和 8 年度の事業実施状況

令和8年度の展示計画

(1) 博物館主催の展覧会

会期	会場	展覧会名称	概要
4月1日(水)～	博 2号	常設展 「佐賀県の歴史と文化」	原始～近代の佐賀県の特長ある自然・考古・歴史・民俗・工芸・美術を紹介(年4回展示替え予定)。
3月25日(水) ～ 6月19日(日)	博 3号	常設展 「逸品展」	近年の新収蔵品や、所蔵品・寄託品を中心に、自然史・考古・歴史・美術・工芸など様々な分野の学芸員がイチ押しする「逸品」を展示
7月30日(木) ～ 9月6日(日)	博 2号 一部	特集展示 シュガーロード	常設展「佐賀の歴史と文化」の内容を、対外交流に注目して構成し、江戸時代の長崎街道、シュガーロード・砂糖・甘味などをテーマに資料を紹介。
8月6日(木) ～ 9月6日(日)	博 3号 一部	テーマ展 「鏡・玉・剣―七ヶ瀬遺跡 と佐賀の弥生首長墓―」	県内で初めて「鏡・玉・剣」がセットで出土した佐賀市七ヶ瀬遺跡の発掘成果を中心に、弥生時代後期の首長墓と豪華な副葬品を一挙紹介(初公開を含む)。
3月12日(金) ～ 4月18日(日)	博 3号 一部	テーマ展 「印章の印象」	鍋島直茂など佐賀の先人たちが押した印章に焦点を当て、本文だけではない古文書の魅力をご紹介します。

令和8年度の予算

(単位：千円)

項目	令和7年度 2月補正後	令和8年度 当初予算	差引	備考
管理運営費	131,492	145,143	13,651	博物館・美術館の維持管理及び運営に要する経費
資料整備費	2,807	3,250	443	資材の購入・寄贈及び寄託等に関する経費
資料購入費	—	—	—	※文化課予算
企画展開催費	20,603	871	△19,732	令和7年度は「若沖と売茶翁展」 令和8年度は令和9年度以降の企画展の資料調査等
常設展示費	4,679	4,684	5	常設展説明パネル作成、キャラバン隊事業費
芸術文化普及事業費	2,217	1,437	△780	体験講座、セミナー等の開催経費等、博物館・美術館インフォメーションガイド
研究活動費	1,288	1,240	△48	資料調査及び調査研究書の刊行に係る経費等
文化振興基金積立金	2,882	1,273	△1,609	グッズ、図録販売収入、寄付金等の文化振興基金への積立金
施設設備改修費	46,158	31,432	△14,726	令和7年度は博物館電話回線更新工事・雨漏り補修工事、美術館ホール舞台調光操作卓設備更新工事・電動吊マイク装置更新工事・ピアノオーバーホール 令和8年度は博物館冷却塔更新工事、美術館ホール舞台吊り物更新工事
副島種臣調査・普及利用事業費	2,906	3,682	776	副島種臣作品の資料購入及び修復
合計	215,032	193,012	△22,020	

※職員（非常勤職員を除く）の給与・報酬・社会保険料等は含まない。

Ⅲ 令和7年度第1回佐賀県 博物館及び美術館協議会に おける主な意見と対応状況

令和7年度第1回佐賀県博物館及び美術館協議会における主な意見と対応状況

意見等	事務局説明	その他
<p>●過去の展覧会パンフレットや調査研究書について、PDFで閲覧できるように館HPで公開してほしい。</p>	<p>・過去の展覧会パンフレットの残部は館内配布を開始し、好評を得ている。今後、パンフレットの制作段階から、データをPDFで公開できるように努めていく。</p>	<p>・過去の調査研究書は一部PDF公開を開始。</p>
<p>●県内学校団体利用に関して、イベント情報等を館から各学校へどのように広報・周知しているか？</p>	<p>・各学校へは、教育情報システム（SEI-Net）や、チラシ配布で周知を行っている。</p>	<p>・令和8年のSEI-Netシステム更新（一部機能利用不可）をふまえ、県教育委員会事務局へ各学校のアドレスの共有を依頼（一部共有済）。</p>
<p>●高齢の来館者が美術館2階画廊へスムーズに上がるようなエレベーターを設置してほしい。また、県民ギャラリーのような部屋を増設してもらえないか。</p>	<p>・新規設置には多額の予算が必要。県立文化施設の大きな課題のひとつとして考えていくべき。ご意見として館から本庁に上げていきたい。部屋の使い方の工夫で解決できる場所もあると考えている。</p>	<p>・部屋の使い方の工夫も含めて引き続き検討。</p>

IV その他

今後の佐賀県博物館協館及び美術館協議会の運営について

○協議会はこれまで、年2回開催してきたが、今後は以下のような形で年1回以上開催という形で運営を行っていきたい。

- ① 3月の協議会で当該年度の事業実施状況及び次年度の事業計画等に関するご意見をいただく。
- ② 3月の協議会以外に、ご意見をいただきたい事案が発生した時に随時、協議会を開催する。

【佐賀県博物館及び美術館協議会条例施行規則（令和2年4月1日佐賀県規則第24号）】

（会議）

第1条 佐賀県博物館及び美術館協議会（以下「協議会」という。）の会議は、必要に応じて招集する

【参考】

来館者数の推移（ホールを除く）

